

## 地域連携推進会議 議事録

日時：2026年2月24日（火）11:00～12:00

場所：ハーモニー

出席者：利用者H様／利用者家族K様／地域の関係者U様

長山・加冷・田中（グリーンフォレスト）

---

### 1. 開会／参加者の紹介（11:00～11:05）

- 開会の挨拶後、出席者より自己紹介・挨拶（利用者H様、利用者家族K様、地域の関係者U様、法人職員）。
- 

### 2. 地域連携推進会議の目的・内容（11:05～11:10）

- 本会議の位置づけとして、地域に開かれた運営を進め、相互理解と連携を深めることを目的として共有。
  - 背景として「ホーム内の暮らしや支援内容が地域から見えにくい」という課題があることを確認し、対話を通じて相互理解と連携を目指すことを説明。
- 

### 3. 法人・ホーム紹介（11:10～11:25）

- 法人（グリーンフォレスト）の事業概要（グループホームを中心とした運営、相談支援）を説明。
  - 開催場所となったハーモニーの沿革（設立からの経過・移転の歴史）と、入居者の生活、日中活動（就労・通所等）、余暇について共有。
  - グループホームが生活の基盤となり、安心して暮らし続けられる支援を担うことを説明。その一例として、地域の防災訓練やお祭り等について、回覧板などで情報を得て参加していることを紹介した。
- 

### 4. 見学（11:25～11:35）

- 見学として、利用者H様から居室や創作物等の案内があった。
  - 日々の生活の工夫や、創作活動・飼育・植物等の取り組みについても紹介。
  - 見学を通じて、入居者の得意なこと（集中力、手先の器用さ等）を共有した。
- 

### 5. 意見交換（11:35～12:00）

#### （1）地域との繋がり

- まずは身近な地域行事（祭りや防災訓練、ラジオ体操）への参加＝「交流」から始め、顔の見える関係をつくることが重要。参加時は主催者・関係者へ事前に一言伝えるなど、受け入れられやすい段取りが有効。

- 展示や販売等は祭りなどで実施できる可能性もあるが、まずは町内でのイベント参加など交流をしてお互い知り合ってからつぎの展開を考えるのが良い。
- (2) 子ども分野との連携の可能性
- 小学校等との連携は交流が広がりやすく、体験活動などの参加も良さそう。利用者の得意なことを活かし、教える側として関わる可能性もある。
  - 子どもとの交流が、保護者・地域へつながり、交流が広がる。
- (3) 参加に向けて
- 家族・職員より、突然の参加で地域側はどう思うのか、理解の差がある等の懸念が話題となった。これに対し、「小さな参加から始め、継続して関係を育てる」「以前より地域も受け入れ態勢がある」との助言があった。
- (4) 生活・活動と地域をつなぐ具体的なアイデア
- 栽培（畑・貸し農園等）や植物の育成、飼育・観察活動を、地域交流の話題・機会につなげる案が出た。
  - 地域情報（行事予定等）を活用し、参加機会を増やす方向性を共有した。
- 

## 6. 閉会（12:00）

- 次回会議まで、地域交流の取り組みを進めていくことを共有し、閉会した。